

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

2025-2026年

Rotary  District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 大江 久夫 幹事 田中 淳 SAA 榊原 由希子

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

2640 地区ガバナー 北野 治義

第 2249 回例会

2026 年 3 月 2 日(月)



19:00～ 海南商工会議所 4F

お誕生日、結婚記念日のお祝い



1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

3. ロータリーソング

4. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 22 名

出席義務規定適用免除会員 1名

出席率 56.41% 前回修正出席率 82.05%

5. 会長スピーチ

副会長 中西 秀文 君

皆さん、今晚は、3 月の旧暦での和風名月(わふうめいげつ)は弥生(やよい)です。3 月、弥生(木草弥生い茂る)(きくさいやおいしげる:草木が生い茂る)月と言われ、春の訪れを意味します。これから暖かくなるのが楽しみです。それと、イタリア北部で広域開催された第 25 回冬季五輪ミラノ・コルティナ大会は 2/22 夜(日本時間 2/22 未明)ペローナで閉会式が行われ、17 日間の祭典が幕を閉じました。2030 年の次回大会は、フランス・アルプス地方が舞台となります。日本選手団は金 5、銀 7、銅 12 のメダル計 24 個を獲得。冬季では過去最多だった前回 22 年北京大会の 18 個を大きく上回り、冬季大会の通算メダル数は 100 個に達したとの事です。又、ミラノ・コルティナパラリンピックは 3/6 に開幕します。パラリンピック参加の選手皆さんも頑張ってくださいと思います。本当に氷上雪上のスポーツはすごかったですね。フィギアスケートの三浦璃来、木原龍一ペアは一躍有名になりましたが、他の選手の活躍にも感動しました。好調の背景には、国やメーカーと連携した競技団体や日本オリンピック委員会(JOC)のサポート体制があったそうです。たとえ、メダルがなくとも自らの限界への挑戦は感動を呼ぶ。



正々堂々と競い合う精神と勝利にとらわれない世界観の融合。スポーツの新たな価値観を見せてくれたと締めくくっています。本当に素晴らしかったですね。

まず初めに、2/9(月)13:30～商工会議所で開催されました理事会報告をさせていただきます。

・報告事項

1) 地区立法案検討会について

1/25(日)ホテルアバローム紀の国で開催され田中幹事出席、大江会長欠席で委任状提出。当日國今日は、当日の立法案検討委員会には、当地区の 61 クラブ・75名の選挙人が出席され、議案1件につき賛成多数で可決された。

1. 審議事項

2026～29 年度規定審議会代表議員として中野均氏、同補欠議員として豊岡敬氏を賛成多数により可決承認しました。

報告事項として

1 和歌山北RCの森本芳宣氏と初田隆生氏による地区資金の使途不明金を巡る民事訴訟の進捗状況についての報告

2 ワールド大阪ロータリーEクラブ復帰についての報告

3 岡本弥生ガバナーエレクトから国際協議会についての報告

2) 宮崎中央RC創立 40 周年記念式典・祝賀会参加について 4/11(土)シーガイアコンベンションセンターにて開催されます。参加者:谷脇、上田、上野山、山畑、中西、楠部、田岡、前田誠、田中淳の9名。

3) 海南グリーンアップ作戦実施について 当日 22 名参加で実施されました。

4) 新春夫婦例会の支出報告について

支出は、641,762 円と報告がありました。

5) 2026 年 4/25(土)26(日)2 日間、第 38 回全国ローターアクト大会開催予定

国際ロータリー第 2750 地区主管(場所)国立オリンピック記念青少年総合センター(オリンピックセンター)

・協議事項

1) 5/10(日) 予定の家族例会について

詳細は後日報告

3月は「水と衛生月間」です

四つのテスト 是非はこれにてしるから

① 真実かどうか ② 好意と友情を深められるか
③ みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか

Rotary 

よいことの
ために
手を取りあおう

事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

2) 第2回 IDM 開催について

- 3月中に案内を出し、4月第3週例会で発表の予定
- 3) 3月のプログラムについて(水と衛生月間)
 - 3/2(月) 19:00～夜間例会
 - 3/9(月)、3/16(月)、3/23(月)
 - 12:30～昼例会(職業奉仕会員卓話)

・次回理事会開催日

3/16(月) 例会後の予定
 それと、2/21(土)～23(日) フィリピンマダウェイ
 イースト RC 及びプロジェクトの現地視察に、楠部さん、
 前田克さん、寺下さん、上田さん、榊原さんの5名が参
 加、本当にお疲れ様でした。後程、ご報告よろしくお願
 いします。

最後になりますが、2/27(金) 19:00～20:00 まで
 zoom オンラインで第2回クラブサポートミーティング
 が開催され大江会長代理で参加しました。北野ガバナ
 ーは体調不良の為欠席でしたが、ガバナーとの距離
 感を縮めるという趣旨のもと、テーマは「会員増強」で
 した。嘉手納代表幹事の進行のもと野村パストガバナ
 ー、藤井パストガバナー、中野パストガバナーも参加さ
 れた中で、会員減少で困っているクラブ又会員増強に
 成功したクラブの事例等の意見交換があり色々と参
 考になる事が多くて良かったです。

6. 幹事報告 幹事 田中 淳 君

○例会臨時変更のお知らせ

- 和歌山北 RC 3月16日(月) 18:30～(時間変更)
(ダイワロイネットホテル和歌山)
- 那智勝浦 RC 3月5日(木) 12:30～(移動例会)
「築地津波避難タワー」見学
- 岩出 RC 3月12日(木) 12:30～
(午年乗馬例会)

「ハーモニーファーム野のはな乗馬クラブ」貝塚市

○例会休会のお知らせ

- 田辺東 RC 3月11日(水) 25日(水)
- 田辺 RC 3月19日(木)
- 和歌山東南 RC 3月11日(水)
- 高野山 RC 3月20日(金・祝)
- 和歌山北 RC 3月9日(月) 23日(月)
- 那智勝浦 RC 3月19日(木)
- 岩出 RC 3月19日(木)

7. 委員長報告

○国際奉仕委員長 楠部 均 君

2月21(土)～23(日)にフィリピンマ
 ダウェイイースト RC の例会及びプロジ
 ェクトの現地視察に、前田克さん、寺下
 さん、上田さん、榊原さん、楠部の5名で行
 ってきました。



次回例会 第2250回 3月9日(月)
 12:30～ 海南商工会議所 4F
 会員卓話 職業奉仕について



ニコニコ・BOX



Happy birthday!

3月のお祝い



○会員誕生日

- 2日 山畑 弥生 君 3日 倉橋 利徳 君
- 16日 小椋 孝一 君 31日 山東 剛一 君

○奥様・旦那様誕生日

- 2日 前田 由紀 様 10日 宇恵 裕子 様
- 12日 新垣 智恵 様 16日 田岡 美香 様

○結婚記念日お祝い

- 13日 重光 孝義 君 15日 小椋 孝一 君
- 26日 岸 友子 君 29日 土井 元司 君

○一般ニコニコ

- 山名 正一 君
- 千賀 知起 君 雨の森公園へ父親を連れて行
きました。
- 中村 俊之 君 1月の夫婦例会で空気清浄機を
頂いて、使っています。
- 重光 孝義 君 先週タイへ行きました。LPGA の
観戦に行きました。
- 倉橋 利徳 君 昨日医大で内視鏡のコメンテ
ーターで参加しました。
- 才力 昭浩 君 2/8(日)水間観音へ誘われて行
きました。雪で高速が通行止め
でした。
- 前田 誠吏 君 昨日怖い夢を見ました。
- 魚谷 幸司 君 清掃参加した方ご苦労様でした。
その後、昼飲み楽しかったです。
- 寺下 卓 君 2003年から毎年フィリピンに行
っています。今年も楽しい視察
でした。今日ヤギの子供が生ま
れました。
- 宇恵 久視 君 2/8(日)ゴルフの予定で行きま
したが、キャンセルしてサウナへ
行きました。次男が入籍しまし
た。
- 上田 善計 君 フィリピンに同行させてもらって
楽しく過ごしました。寺下さん
にお世話になりました。
- 上中 嗣郎 君 今一番つらい時期です。昨日も
ゴルフへ行きました。
- 桑添 剛 君 花粉症で大変です。1945年生ま
れの私としては今の世界が残念
に思います。
- 楠部 均 君 私は初めてフィリピンに行きま
した。初日の夜にカラオケでヤン
グマン、上田さんが有名でした。

新垣 直樹 君	何もせず 2 月終わりました。子供が 20 才になりました。息子は結構酒を飲むようです。
田岡 郁敏 君	Facebook に当クラブとフィリピンのライブが映っていました。今日海南高校の卒業式に参加しました。
前田 克仁 君	マンダウエイのチャーター例会に参加しました。先週金曜日に昔の会社の同僚と飲みました。
総田 さよ志君	毎年 2/3 に青岸渡寺で豆をまくのがしきたりです。前日から勝浦に泊まります。
上野山 雅也君	私も空気清浄機を使っています。昨日玄関の木を剪定していました。
奥 喜全 君	先日、中高の同級生が 52 才で亡くなりました。循環器の医者でした。
小椋 孝一 君	1955 年生まれで 71 才、昭和 52 年 3 月 15 日に結婚し、新婚旅行で石垣島に行きました。週 2 回カラオケに行きます。
山畑 弥生 君	月に 1 回か 2 回友達とランチに行きます。昔の話に花が咲きました次回クロスで友達と楽しみます。
楠山 友加江君	ホルモン好きの楠山です。海南で店を開いて 5 年たちました。
榊原 由希子君	フィリピンに行き始めて、知り合いもできて英語も通じます。
田中 淳 君	今、仕事忙しいです。
中西 秀文 君	お酒飲んでもらってありがとう。フィリピンに行かれた方お疲れ様でした。

「多様性が豊かで社会構造が複雑なインドにあるこの平和センターは、共感と創造性をもって紛争に取り組むリーダーを育成する絶好の場」と話すのは、ロータリー財団管理委員であるバラット S. パンディヤ氏（インド、ポリグリ・ロータリークラブ会員）です。「このセンターから、対話と理解、そして持続可能な平和を重んじるアジアの新世代リーダーが育っていくでしょう」

新センターでは、平和・開発の分野の準修士号取得を目指す毎年最大 40 名のロータリー平和フェローを受け入れます。プログラムは、中堅キャリア層を対象とし、政府機関、NGO、地域団体、教育機関、メディア、国際機関などで平和や開発分野に携わった経験を持つ専門家を対象としています。

シンビオシス国際大学のモットーである「世界は一つの家族 (Vasudhaiva Kutumbakam)」は、1971 年の創設時にさかのぼる国際主義と文化理解へのコミットメントを表しています。差別に苦しむ留学生（特にアフリカ出身）を支援する文化交流センターとして設立された同大学は、現在では 85 以上の国から 55,000 人以上の学生を受け入れています。



「当大学は、質の高い教育と異文化理解を通じて世界市民を育て、思慮深いリーダーを輩出することを目指してきました。これらは、調和ある世界を築くために不可欠です」。こう述べるのは、国際教育のためのシンビオシスセンター所長で、同大学のドバイ校（アラブ首長国連邦）事務局長でもあるアニタ・パタンカル氏です。「ロータリー平和センターは、独自の学術プログラムを通じて、このビジョンをさらに広げる存在となります」

すでに同大学は、近隣のロータリー第 3131 地区、第 3141 地区と協力してきた長い歴史があり、両地区はインド滞在中のフェローたちの支援にあたります。同大学では、毎年ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA) が開催されているほか、ロータリー会員の支援の下で教員研修も実施されています。最近では、大学病院が地域住民に無料医療サービスを提供するプロジェクトに、ロータリー財団のグローバル補助金が活用されました。

「シンビオシスは、学びを豊かにし、知識を重んじるインクルーシブで持続可能な社会を築くために、常に意義ある協力関係を求めてきました」と、ラーマクリシュナン・ラマン副総長は語ります。「ロータリーとの協力は、この取り組みをさらに強化し、学術研究、平和構築、人材育成の新たな可能性を開くものです」

Rotary NEWS



アジアの平和・開発専門家を育成へ シンビオシス国際大学に ロータリー平和センターが誕生

国際ロータリーとシンビオシス国際大学の代表者らが、インド・プネでの新たなロータリー平和センターの開校式に出席しました。ロータリー財団の支援を受けて設立されたこのセンターは、アジア各地の経験豊富な平和構築の実践者を対象に、専門能力開発修了証の取得に向けた 1 年間のフェローシップを提供し、紛争転換、持続可能な開発、社会変革などを学ぶ機会を提供します。

新センターは、丘の上にある同大学ラヴェールキャンパス内に設置されます。カリキュラムはアジア諸国が直面する課題に重点を置き、ブネ周辺や市内でのフィールドワークなど、実践的な学習の機会が多く組み込まれています。同大学は 35 以上の近隣村落と密接な関係を持ち、法律相談所や職業訓練プログラムを通じて住民を支援しています。フェローたちは、大学教員や学生、村の住民と協力しながら、村落について理解し、発展への戦略を提案し、地域のリーダーからフィードバックを得ます。こうした実践的学習は、シンビオシスとロータリーの双方に共通する「社会的責任」の理念があるからこそ可能だと、ロータリーの平和センター担当マネジャーであるローラ・デッシャーは述べます。

「同大学は、自校の学生だけでなく、地元やより幅広い地域の人びとの幸せと発展も大切にしています。これは“世界でよいことをしよう”というロータリーの使命と完全に一致しています」とデッシャー。「平和は、社会のあらゆる場所で尊厳、高潔性、インクルージョンが優先されて初めて実現するものです」

今回のインドでの平和センター開設により、ロータリー財団は毎年最大 170 名のフェローに全額支給の平和フェローシップを提供できるようになります。2002 年以来、1,800 名を超える世界各地のロータリー平和センター卒業生が、政府機関、NGO、教育機関、国際機関などでリーダーとして活躍しています。シンビオシス国際大学の平和センターの第 1 期申請は、2026 年 5 月 15 日まで受け付けています。第 1 期生は 2027 年初頭に入学する予定です。「ロータリー平和センターは、平和構築に関する戦略や実践方法を学んだリーダーを育てることで、今後長きにわたって世界に幅広いインパクトを与えていくでしょう」と国際ロータリーのフランチェスコ・アレツォ会長は語ります。「相互に絡み合うこの世界において、平和はもはや抽象的な理想とされるべきではありません。平和は、知識、倫理的リーダーシップ、行動力を兼ね備えた機関を通じて育まれるべきものです」とアレツォ会長。「シンビオシス国際大学のロータリー平和センターは、大義のために誠実に行動できるリーダーを育てるというロータリーの揺るぎないコミットメントを体現しています。このセンターは、アジアでの平和構築のみならず、全世界が共有する責任を支える堅固な枠組みづくりにも貢献していくでしょう」



進捗報告：ナイジェリアの健康な家族のための協力

母子の命を守る取り組みは、数字だけでは測れない

妊婦 10 万人あたり 512 人が亡くなっているナイジェリアは、妊産婦死亡率が世界で最も高い国の一つです。このような統計は単なる「数字」に感じられるかもしれませんが、私にはそこから母親や赤ちゃんたちの顔が見えてきます。この統計の裏にある悲しみや喜びの現

場に、私はこれまで立ち会ってきました。



「Together for Healthy Families in Nigeria」(ナイジェリアの健康な家族のための協力)という、ロータリー財団の補助金を活用した大規模プログラムに携わっています。3

年目を終えたこの取り組みは、特定地域における母子死亡率を 25%減らすことを目指しています。この目標に向けて、もっと多くの家族が自宅ではなく医療機関で出産・ケアを受けるよう、地域での対話セッションや家庭訪問を行っています。また、ヘルスワーカーへの追加研修を実施することで、医療そのものの質も高めています。

最近行われた緊急産科・新生児ケア研修中、エキティ州アイエにある保健センターに陣痛中の女性が運ばれてきました。彼女はこれまでに 5 回の妊娠経験があり、今回は 36 週を少し過ぎた双子を妊娠していました。保健センターは人手不足で、責任者である助産師は不在。代わりに出産の対応にあたったのは、助産師として正式な訓練を受けていないコミュニティヘルスワーカーでした。しかし、私たちのプログラムを通じて緊急ケア研修に参加したこのヘルスワーカーは、命を救うスキルを身につけていました。双子の一人目の赤ちゃんは、頭位でスムーズに生まれました。産声が響いた瞬間、私たちはほっと胸をなでおろしました。

しかし、2 人目は逆子でした。コミュニティヘルスワーカーが最善を尽くしても分娩は進みません。時間だけが過ぎ、部屋には不安が広がりました。すぐに紹介手続きが行われ、研修に参加していた医療責任者と看護師がためらうことなく動きました。彼らは女性をイイン・エキティの総合病院に搬送しました。数時間後、私は出産に立ち会い、2 人目の赤ちゃんが無事誕生するのを見届けました。しかし、母親が大量出血を起こし、まだ安心はできません。出産時の大量出血は、ナイジェリアで最も多い妊産婦死亡の原因のひとつです。迅速に数種類の薬が投与されて出血はようやく収まりました。母親の命は救われ、二人の赤ちゃんも小さな体でしっかりと呼吸していました。その夜、床に就いた私は、あの母親の顔を思い出していました。蒼白ながらも微笑み、そばには小さな二人の赤ちゃんが寄り添っていました。そこには、勇気を持って対応したコミュニティヘルスワーカー、緊急時に迅速に紹介手続きを進めたスタッフ、そして母子が安全になるまで決してあきらめなかった病院スタッフたちがいました。私にとってこれは、単なる「仕事場での一日」ではなく、自分の使命を再確認する日となりました。統計の裏には一つひとつの物語があり、そのそれぞれに一人の母、一人の子ども、一つの家族、そして未来があるのです。

